



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月14日

上場会社名 明治機械株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6334 URL http://www.meiji-kikai.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中尾 俊哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 高工 弘 TEL 03-5295-3511  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,866	5.7	162	1,598.0	165	1,171.4	131	197.0
28年3月期第2四半期	2,710	37.1	9	—	12	—	44	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 76百万円 (ー%) 28年3月期第2四半期 △45百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	11.58	—
28年3月期第2四半期	4.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	5,013	1,732	34.6	152.14
28年3月期	4,847	1,655	34.2	145.40

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,732百万円 28年3月期 1,655百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,711	11.4	239	88.9	224	89.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	11,402,636株	28年3月期	11,402,636株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	14,200株	28年3月期	14,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	11,388,436株	28年3月期2Q	9,488,436株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善基調が続いているものの、個人消費の回復には弱さが見られ、企業収益や設備投資の持ち直しの動きにも陰りが見られました。さらに、中国など新興国経済の景気減速、英国のEU離脱による欧州経済への影響、円高の進行、株式市場の低迷など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社及び当社グループは、引続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS(顧客満足)を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストダウンなどによる既存事業の収益性向上と、太陽光関連事業をさらなる成長軌道に乗せることにより、業績向上に鋭意努めてまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は、中小規模プラント案件の工事進行基準による売上などがあり、2,866百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

また、損益面に関しましては、越谷工場移転に係わる費用(工場修繕費用・機械等移設費用)47百万円の計上があったものの、営業利益162百万円(前年同四半期比1,598%増)、経常利益165百万円(前年同四半期比1,171.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益131百万円(前年同四半期は197%増)と大幅に伸ばいたしました。

セグメント別の状況は下記のとおりであります。

#### 〔産業機械関連事業〕

製粉業界は、4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で7.1%引き上げられたことに伴い、7月に業務用小麦粉の価格の改定等を実施しましたが、消費者の節約志向の継続を背景として厳しい市場環境の中、販売競争が一段と激しさを増している模様であります。

一方、飼料畜産業界におきましては、安価で推移していた主原料のとうもろこし価格が、生産国の米国などの悪天候により4月以降急騰した後、米国の大豊作の見込みから下落し、飼料各メーカーは4月には大幅な値下げを、7月には値上げを行いました。第1四半期は、原材料価格の下落を上回る値下げとなり非常に厳しい状況でしたが、夏以降はとうもろこし価格の値下がりにより、厳しさは和らいだ模様であります。しかしながら、メーカー間の競争がさらに激化しており、競争力強化のコストダウンを目的とした工場集約化を含む業界再編の動きが活発化している模様であります。

このような状況の中、売上高につきましては、中小規模プラント工事(工事進行基準適用)などの各種製粉・飼料設備工事のほか、その他の主力製品のロール機、ピューリファイヤー、シフター、精選諸機械などの販売により、売上高は1,902百万円(前年同四半期比6.1%減)となりました。損益面に関しましては、プラント工事ほかの予算管理の徹底などに努め、営業利益84百万円(前年同四半期は営業損失6百万円)となりました。

#### 〔太陽光関連事業〕

太陽光関連事業につきましては、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度(FIT)の見直しが行われる一方で、政府の掲げる新築住宅をゼロ・エネルギー住宅とする政策のもと、今後、国内では太陽光発電設備を活用したゼロエネ住宅のスタンダード化が期待されます。また、当社は太陽光パネル販売にとどまらず、施工から保守・メンテナンスに対応する体制を採っております。このような事業環境のもと、当四半期におきましては、受注・売上確保のため積極的な営業活動を展開し、売上高は942百万円(前年同四半期比42.2%増)、営業利益63百万円(前年同四半期は営業損失0百万円)となりました。

#### 〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高20百万円(前年同四半期比0.9%減)、営業利益14百万円(前年同四半期比14%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債・純資産に関する状況

##### 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は5,013百万円となり、前連結会計年度末に比較して166百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が583百万円、仕掛品が220百万円増加したのに対して、受取手形及び売掛金が614百万円減少したことなどによるものであります。

##### 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,280百万円となり、前連結会計年度末に比較して89百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金50百万円、前受金が180百万円、賞与引当金が39百万円、修繕引当金及び移転損失引当金が24百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が137百万円、長期借入金及び社債が91百万円減少したことによるものであります。

##### 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,732百万円となり、前連結会計年度末に比較して76百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が131百万円増加したのに対し、為替換算調整勘定が52百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ591百万円増加し1,342百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果得られた資金は650百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額610百万円、前受金の増加額180百万円などの収入に対して、たな卸資産の増加額229百万円、仕入債務の減少額168百万円などの支出があったためであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果得られた資金は2百万円となりました。これは主に、その他5百万円(有形固定資産売却による収入2百万円、定期預金の預入・払戻の純増加額2百万円等)などの収入に対して、有形固定資産取得による支出2百万円があったためであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は46百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の純減少額が31百万円、社債の償還による支出10百万円などがあったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の国内外の経済動向や関連業界の動向を鑑み、現時点におきましては平成28年5月12日に公表しました平成29年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	793,856	1,377,109
受取手形及び売掛金	2,116,637	1,502,291
商品及び製品	37,442	45,767
仕掛品	159,292	379,602
原材料及び貯蔵品	57,170	47,794
その他	21,596	38,555
貸倒引当金	△4,300	△2,623
流動資産合計	3,181,695	3,388,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	149,649	142,687
機械装置及び運搬具(純額)	37,898	32,959
土地	926,416	926,416
その他(純額)	47,549	41,655
有形固定資産合計	1,161,514	1,143,719
無形固定資産		
その他	41,971	34,579
無形固定資産合計	41,971	34,579
投資その他の資産		
投資有価証券	400,167	393,904
その他	61,723	52,468
投資その他の資産合計	461,891	446,372
固定資産合計	1,665,377	1,624,672
資産合計	4,847,072	5,013,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,343,062	1,205,737
電子記録債務	453,789	421,376
短期借入金	541,160	591,736
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	27,630	47,735
前受金	76,441	256,838
賞与引当金	15,120	54,126
工事損失引当金	—	7,180
修繕引当金	—	12,950
移転損失引当金	—	11,350
その他	53,997	83,940
流動負債合計	2,531,200	2,712,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	10,000	—
長期借入金	205,150	123,330
退職給付に係る負債	221,424	223,891
資産除去債務	19,698	19,698
その他	203,731	200,634
<b>固定負債合計</b>	<b>660,003</b>	<b>567,553</b>
<b>負債合計</b>	<b>3,191,204</b>	<b>3,280,523</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,414,059	1,414,059
資本剰余金	176,700	176,700
利益剰余金	19,907	151,769
自己株式	△8,941	△8,941
<b>株主資本合計</b>	<b>1,601,725</b>	<b>1,733,587</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37,805	△40,710
為替換算調整勘定	91,948	39,770
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>54,142</b>	<b>△940</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,655,867</b>	<b>1,732,646</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,847,072</b>	<b>5,013,170</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,710,882	2,866,140
売上原価	2,351,042	2,336,846
売上総利益	359,840	529,294
販売費及び一般管理費	350,295	367,206
営業利益	9,545	162,088
営業外収益		
受取利息	9,053	4,004
受取配当金	554	572
その他	2,233	6,309
営業外収益合計	11,840	10,886
営業外費用		
支払利息	4,501	4,501
持分法による投資損失 為替差損	3,868 30	3,358 -
営業外費用合計	8,399	7,860
経常利益	12,986	165,114
特別利益		
固定資産売却益	21,298	2,699
投資有価証券売却益	5,118	-
受取和解金	10,000	-
特別利益合計	36,417	2,699
税金等調整前四半期純利益	49,403	167,814
法人税、住民税及び事業税	5,439	35,952
法人税等調整額	△428	-
法人税等合計	5,011	35,952
四半期純利益	44,392	131,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,392	131,862

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	44,392	131,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,689	△2,904
為替換算調整勘定	8,331	△52,178
その他の包括利益合計	△90,358	△55,083
四半期包括利益	△45,965	76,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,965	76,778
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	49,403	167,814
減価償却費	21,205	17,750
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	150	△1,677
受取利息及び受取配当金	△9,607	△4,577
支払利息	4,501	4,501
固定資産売却損益 (△は益)	△21,298	△2,699
受取和解金	△10,000	—
持分法による投資損益 (△は益)	3,868	3,358
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,118	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△546,524	610,371
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△234,362	△229,210
前受金の増減額 (△は減少)	△140,356	180,793
仕入債務の増減額 (△は減少)	685,011	△168,352
その他	△46,311	89,415
小計	△249,438	667,488
利息及び配当金の受取額	9,607	4,577
利息の支払額	△4,520	△4,530
法人税等の支払額	△9,871	△16,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	△254,223	650,983
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,563	△2,162
投資有価証券の売却による収入	6,393	—
その他	22,152	5,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,982	2,922
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	100,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△95,580	△231,244
リース債務の返済による支出	△7,162	△5,142
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,742	△46,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,004	△16,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△392,978	591,363
現金及び現金同等物の期首残高	527,646	750,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	134,667	1,342,097

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	太陽光 関連事業	不動産関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	2,027,097	663,113	20,672	2,710,882	—	2,710,882
セグメント間の内 部	—	—	—	—	—	—
売上高又は振替高						
計	2,027,097	663,113	20,672	2,710,882	—	2,710,882
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,743	△75	16,364	9,545	—	9,545

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	太陽光 関連事業	不動産関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	1,902,857	942,796	20,487	2,866,140	—	2,866,140
セグメント間の内 部	—	—	—	—	—	—
売上高又は振替高						
計	1,902,857	942,796	20,487	2,866,140	—	2,866,140
セグメント利益	84,060	63,961	14,066	162,088	—	162,088

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。